



Title	＜書評＞「きみのうんこはどんないろ」（藤森弘 文， 峰村りょうじ 絵）
Author(s)	3児のパパ
Citation	大阪公衆衛生. 1990, 58, p. 20-20
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83653
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『きみのうんこはどんないろ』

藤森 弘（文）・峰村りょうじ（絵）

この本はうんちによる健康管理やしつけを書いた本です。私には3人の子供がいますが、しつけや健康管理についていろいろ悩むことがしばしばあります。

その一つとして排泄についての事です、オシッコは割合はやく自分であることを覚えるのですが、うんこについてはなかなかおぼえてくれず、「うんち」といった時にはもうでてしまっていることがほとんどです。今も末娘とほとんど毎日くさい戦いをしている訳ですが、子をもつ親なら一度は通るこの道、いろんな人に参考として意見を聞きたいものです。

そんな中でたまたま見ることができたこの本は、まさに「天からの贈り物」でした。内容は子供でもわかるように、うんちの色やかたちにより自分の健康度がわかるように絵で書かれています。また、どのようにして体を通してうんちが出てくるのか、どんなものを食べたら良いうんち、悪いうんちが出るのかなど、日ごろ子供がききたがることを具体的に書いています。しつけについては、便をもよおしてから排泄までの過程やマナーまで、簡単明瞭で親子5人で納得するわかりやすさです。

末娘が読めないまでも、絵を見ながら私の説明をまじめに聞いているのを見てると、「わかってんのか」と思いつつも、早くトイレにいかないか心待ちにしています。しかしまたしても残念な結果で、手で頭をかきながら私の顔をみられると怒ることもできず、これから先、まだまだ私と娘のくさい闘いは続く肝に銘じ、悪戦苦闘する今日この頃です。

（3児のパパ）